

都政に女性が‘もっと’必要! 生活者の声を都政に届ける

41歳



山川ゆな

① 生活者の支援強化

非課税世帯に限らず早急な支援が必要!

- 中小企業支援の強化と質上げの推進
- 家賃や住宅関連等の支援
- 旅行税(宿泊税など)制度を見直し。外国人観光客が負担すべき税金を適正化し都民に還元

② 保育・教育格差の解消

経済状況に左右されない保育教育支援!

- 日曜保育実施開始 高学年児童保育病児・病後児保育の充実
- 朝学校給食と長期学校休暇中給食導入による食負担軽減
- 都立学校受検料無償化、都立中学校の増設、公教育のアクセスを公平にする

③ 高齢者・若者支援!持続可能な公助の強化

社会的包摂・経済的安定を目的とし、雇用創出や福祉制度の充実を推進!

- ケアラー条例を制定
- 介護職員・保育士・学校教職員の待遇改善や研修強化
- 都営住宅等公営賃貸住宅の拡大

④ 動物殺処分ゼロ ペットも守る!未来の防災

都内では約61.1%の家庭がペットを飼育。動物福祉・飼育環境の整備促進が必要

- 動物介在教育(AAE)を通して情緒の安定や命の尊重を学ぶ教育活動

⑤ 原発ゼロ宣言・IR誘致反対!

都市の利益を超え持続可能な未来を見据える
短期的な利益ではなく持続可能な選択を!

⑥ ハラスメントに負けないジェンダー平等!

都議会女性の割合は30.9%、都民の半分は女性です。まだまだ足りません!女性のライフステージ(更年期障害や女性特有疾患)の医療支援強化

⑦ 議員の多様性 バランスの取れた都政の実現

独立した市民派議員の都政監視が前提で政党政治の調和が保たれます。単なる政党や会派による多数決ではなく、議論・権力の監視を重視した多様な都民の意見を反映するためのダイバーシティが必要

司法書士・働く! 4児の母親

私は、4児の母です。生活者として物価高騰が家庭を圧迫し、多くの方が厳しい状況に置かれています。それにもかかわらず、対立構造と莫大な政治資金依存の結果「政治とカネ」をめぐる不祥事が続き、「どの政治家や政党を信じればよいのか」と迷う方も少なくありません。市民の監視機能が弱まれば政治の質が低下し、本来の住民自治が損なわれます。司法書士としての法律知識と問題解決力を活かし、公正な政治の実現に全力で取り組みます。

【プロフィール】

1984年(昭和59年)生まれ■学歴:白梅学園短期大学保育科卒業■職歴:保育士・幼稚園教諭、司法書士法人経営(育児をしながらか司法書士試験に合格)◆選挙経歴:2021年 東京都議会議員選挙 荒川区選挙区 初立候補(5,023票獲得)/2023年 統一地方選挙 荒川区選挙区 1,282票獲得(次点で落選)/2024年 荒川区議会議員補欠選挙 13,242票獲得

娘が私を
書いてくれた
イラストです!

